

## 一般財団法人三重YMCA 40年史

- \* 財団法人設立 1983（昭和58）年4月 1日
- \* YMCA設立 1974（昭和49）年3月10日

### §目次

- 「パリ基準」
  - 「日本YMCA同盟基本原則」
  - 「三重YMCAミッションステートメント」
- 一般財団法人三重YMCAの歩み
- 主な事業の状況
  - ψ YMCA幼稚園
  - ψ 青少年活動
  - ψ 英会話教室、国際交流
- 40周年に当たってご挨拶

以上

### 【聖句】

「神の国を何にたとえようか。どのようなたとえで示そうか。それは、からし種のようなものである。土に蒔くときには、地上のどんな種よりも小さいが、蒔くと成長してどんな野菜よりも大きくなり、葉の陰に空の鳥が巣を作れるほど大きな枝を張る。」

（マルコによる福音書 4章30～32節）

## パリ基準

三重YMCAは、世界キリスト教青年会同盟結成の基準である次に掲げるパリ基準を承認する。

「われら世界のYMCAは、イエス・キリストを聖書に従ってわが神わが救い主と仰ぎ、信仰とその生活において彼の弟子でありたいと願う青年たちを一つとし、イエス・キリストの精神が広く青年の間に生かされるよう、その努力を結集する。」

---

## 日本YMCA基本原則

私たち日本のYMCAは、イエス・キリストにおいて示された愛と奉仕の生き方に学びつつ、世界のYMCAとのつながりのなかで、次の使命を担います。

私たちは、  
すべての人びとが生涯をとおして全人的に成長することを願い、  
すべてのいのちをかけがいのないものとして守り育てます。

私たちは、  
一人ひとりの人権を守り、正義と公正を求め、  
喜びを共にし痛みを分かち合う社会をめざします。

私たちは、  
アジア・太平洋地域の人びとへの歴史的責任を認識しつつ、  
世界の人びとと共に平和の実現に努めます。

---

## 三重YMCA ミッション・ステートメント

三重YMCAは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の精神に基づき、次の使命を果たすために活動を展開します。

- 1 すべての人が、生涯をとおして人間らしく成長することを願い、ボランティアの育成と共に学びあう教育に力を注ぎます。
- 2 お互いの人権を尊重し、共に生きる福祉社会と、すべての生命が守られる環境の実現に努めます。
- 3 歴史に学び、互いの文化を尊重し、正義と平和のために、世界の人びとと共に歩みます。
- 4 常に何が正しいのかを、共に考え、話し合い、実現する社会の実現をめざします。

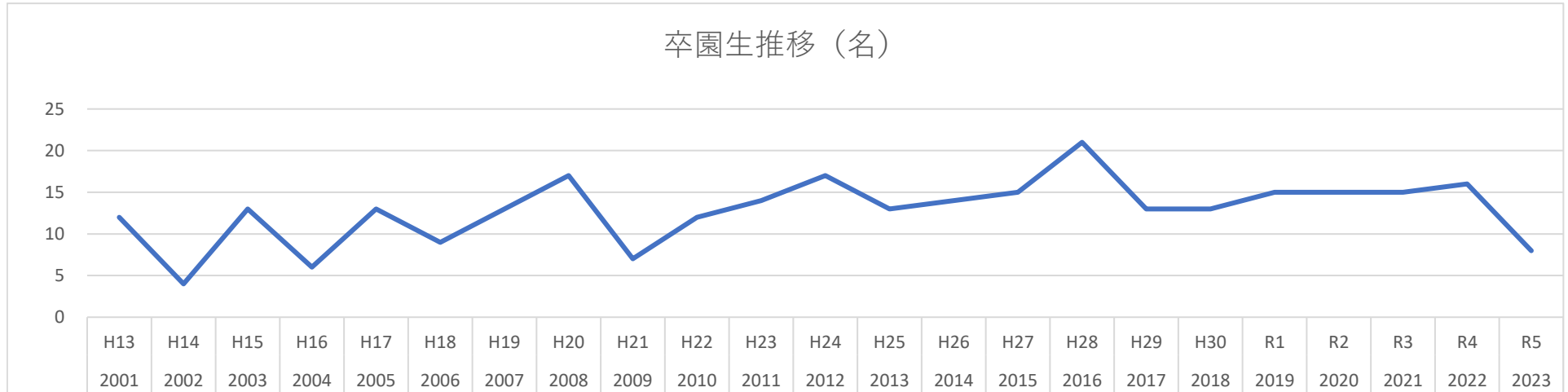
一般財団法人三重YMCAの歩み

| 西暦   | 年号   | 記 録   |
|------|------|---|
| 1974 | 昭和49 | ・名古屋YMCAブランチとして四日市市阿倉川町に開設（3月）<br>・地元キリスト教会の教職者・信徒による「四日市YMCAを考える会」を組織、後に運営委員会を発足                                 |
| 1975 | 昭和50 | ・近鉄四日市駅前に四日市センターを開設<br>・ロングビーチYMCAとの交流プログラムを開始  |
| 1976 | 昭和51 | ・ロングビーチYMCAスタッフを迎え、語学教育・国際交流の充実をはかる   |
| 1977 | 昭和52 | ・成人英会話会員による会員増強キャンペーンを実施<br>・四日市ワイズメンズクラブがチャーター   |
| 1981 | 昭和56 | ・原爆絵画展、アジアの理解の夕べ等の平和教育を開始   |
| 1982 | 昭和57 | ・財団法人四日市キリスト教青年会発起人会発足  |
| 1983 | 昭和58 | ・日本YMCA同盟加盟承認(3月19日)<br>・財団法人設立認可(3月26日)、財団法人四日市キリスト教青年会発足 理事長 大澤正義氏、総主事 舘 清氏<br>・津YMCA開設(津駅前、7月)                 |
| 1984 | 昭和59 | ・桑名YMCA開設(7月)、津及び桑名YMCAを考える会設置<br>・第1回市民クリスマス開催（四日市文化会館）  |
| 1985 | 昭和60 | ・四日市YMCA学院予備校開設   |
| 1986 | 昭和61 | ・西桑名センター開設(4月)<br>・12月 バブル経済突入（通説による）   |
| 1987 | 昭和62 | ・財団の名称を「財団法人三重キリスト教青年会」に変更(5月)<br>・長年の肢体不自由児招待水泳教室の実施により、四日市市障がい者団体連絡協議会より感謝表彰される(12月)                            |
| 1988 | 昭和63 | ・鈴鹿YMCA開設(4月)<br>・新会館取得を決議(2月、緊急理事常議員会)   |
| 1989 | 平成 1 | ・YMCA四日市国際青少年センター開設(5月、四日市市西新地)<br>・理事、常議員、委員協議会開催「歴史に学ぶYMCA 人の働き」  |
| 1990 | 平成 2 | ・台湾・彰化YMCAと代表団の相互訪問   |
| 1991 | 平成 3 | ・三重県国際交流団体協議会発足に伴い加入(4月)<br>・ノルウェー青少年グループ「テン・シング」受入れ(10月)<br>・彰化YMCAとパートナーシップ締結(2月23日)<br>・2月 バブル期終了（バブル崩壊、通説による） |
| 1992 | 平成 4 | ・津ワイズメンズクラブがチャーター<br>・社会福祉法人設立を決議(11月)  |

| 西暦            | 年号           | 記 録  |
|---------------|--------------|--|
| 1993          | 平成 5         | ・三重YMCAの将来を考えるスタッフの会発足   |
| 1994          | 平成 6         | ・社会福祉法人設立発起人会発足(11月5日)<br>・三重YMCAミッションステートメントを考える会発足<br>・阪神淡路大震災発生(1月17日)、ワイズと共同で救援活動      |
| 1995          | 平成 7         | ・デイサービスセンター建設のため阿倉川会館取壊し開始(8月)   |
| 1996          | 平成 8         | ・第2代理事長として塚本浩巳氏が就任   |
| 1999          | 平成11         | ・第2代総主事として星野宗吾氏が就任   |
| 2000          | 平成12         | ・第1回チャリティラン実施(5月)<br>・桑名YMCAを閉館、これまでに津、鈴鹿を閉館   |
| 2002          | 平成14         | ・中央デイサービスセンター開設(12月)<br>・レイマン・スタッフ研修会実施(9月)<br>・フィリピン民俗芸能公演と青少年交流実施                        |
| 2003          | 平成15         | ・第3代総主事として坂本清則氏が就任<br>・中国成都YMCAとパートナーシップ締結(10月)<br>・キッズステーション建設(2003年3月竣工)                 |
| 2006          | 平成18         | ・任意団体三重YMCA発足(5月)<br>・菰野町の介護予防プログラム応援<br>・「映画鑑賞とゴスペルの夕べ」を四日市市内キリスト教会と四日市ワイズメンズクラブと共催(文化会館) |
| 2007          | 平成19         | ・坂本清則総主事退任(9月)、理事運営体制に移行(10月)<br>・チャリティランに代わってチャリティウォークを開催                                 |
| 2008          | 平成20         | ・四日市YMCA学院を閉鎖<br>・体育ホール完成  |
| 2011          | 平成23         | ・3月11日 東日本大震災発生、募金活動実施   |
| 2012          | 平成24         | ・中央デイサービスセンターを社会福祉法人に移管(10月)   |
| 2014          | 平成26         | ・法改正により、財団法人三重キリスト教青年会解散(3月)<br>一般財団法人三重YMCAに移行(4月)  |
| 2015          | 平成27         | ・四日市市西新地会館を休館、キッズステーションに事業集約   |
| 2016          | 平成28         | ・四日市市西新地の土地、会館を売却(1月)  |
| 2018          | 平成29         | ・YMCAロゴマーク変更、ブランディングスタート   |
| 2020          | 令和 3         | ・成人英会話教室を閉校  |
| 2020-<br>2023 | 令和3～<br>令和5年 | ・新型コロナウイルス感染症が猛威をふるう。<br>YMCA幼稚園は、2022年2月休館(4日間)   |
| 2024          | 令和6年         | ・1月1日 能登半島地震発生、募金活動実施  |

## YMCA幼稚園

### □ 卒園生推移



（卒園生累計 449名）

### □ YMCA幼稚園の特徴

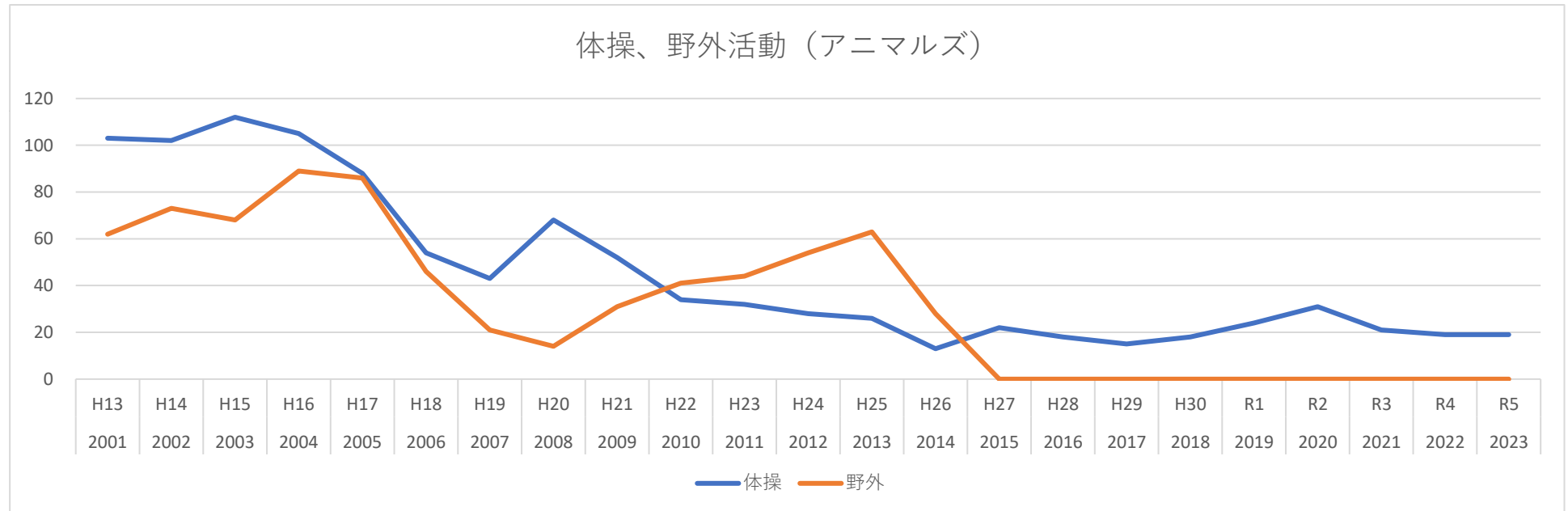
\* 英語    \* 体育    \* 野外活動

（最近の野外活動の主な行先）

|                |          |
|----------------|----------|
| 鶉の森公園          | 湯の山大石公園  |
| 諏訪公園           | 城山公園     |
| くすのき公園（市内西阿倉川） | 長島スパワールド |
| 垂坂山公園と元三大師     | おやつタウン   |

## 青少年活動

### □体操教室、野外活動（アニマルズ）



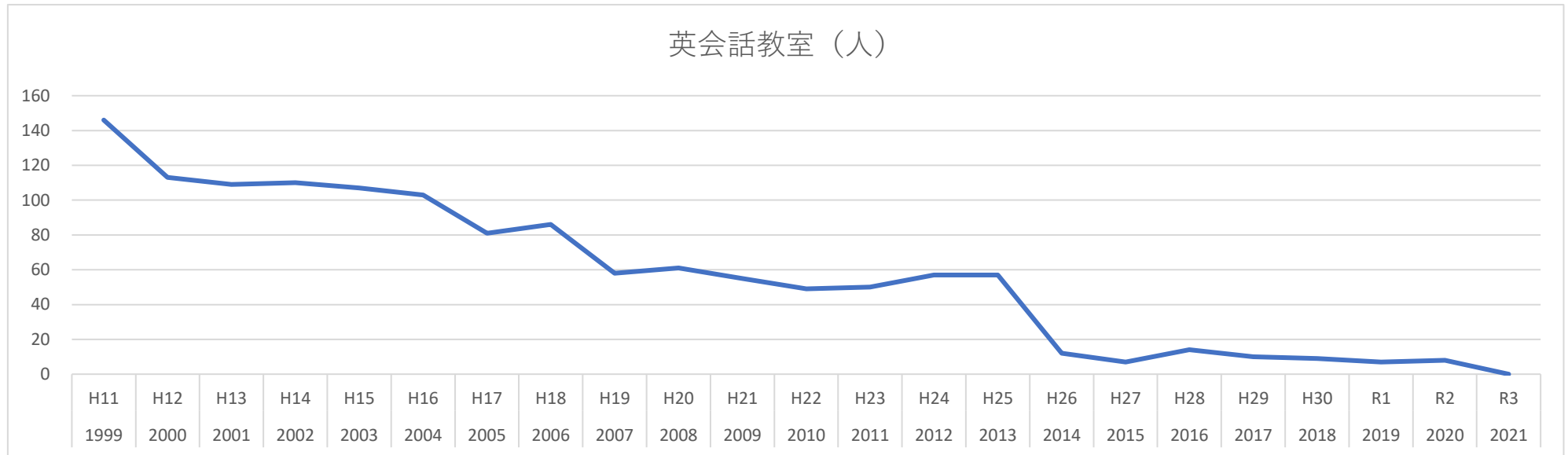
野外活動は、2014年度で中止

□体操：跳び箱、マット、鉄棒

□野外活動の主な行先

|               |                  |
|---------------|------------------|
| 本城山公園（津市豊津上野） | ウルルスキーキャンプ（柵池高原） |
| 宮妻峡キャンプ場      | 三方五湖海キャンプ        |
| 鈴鹿青少年の森       | 宮妻峡山キャンプ         |
| 八風キャンプ場       | スケート（愛、地球博記念公園）  |

## 英会話教室、国際交流



\* 2020年度英会話教室閉校

### □ 国際交流の実績

- \* 1975 (昭和50)～2002 (平成14)年 中高生、成人によるニューヨークセミナー、ロングビーチYMCAとの交流、コロンバス・オーストラリアセミナー、アメリカ西部開拓史の旅、ロングビーチ小学生国際キャンプ等の交流プログラムを実施
- \* 1987 (昭和62)年、1991 (平成3)年ノルウェーのYMCA少年少女合唱団「テンシング」四日市講演を受入れ

## § 40周年にあたってご挨拶

一般財団法人三重YMCAは、1974(昭和49)年名古屋YMCAの四日市ブランチとして現在の四日市市阿倉川町内で開設されました。その後1983(昭和58)年財団法人として発足し、財団設立40周年を迎えました。

これはひとえに、会員皆さまの温かいご理解と、多くの諸先輩方のご努力並びに関係各位のご協力の賜物と心から御礼申し上げます。

この40年間は、紆余曲折があった期間でありました。

現在阿倉川町内にて活動を行っています。微力ではありますが、青少年育成団体としての性格を維持しつつ、多様な活動を続けていきたいと願っています。

皆さまには、これまで以上にご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

代表理事 塚本浩巳